

福島第一原子力発電所 J1東タンクエリア内堰内雨水サンプリング結果 全ベータ放射能濃度上昇について

< 参 考 資 料 >
2 0 2 0 年 3 月 5 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 2020年3月3日、J1東タンク（溶接タンク）エリアの内堰内集水ピット雨水について定期サンプリング(3月2日採取)を実施したところ、全ベータ放射能濃度が前回（3ヶ月前）の定例サンプリングで測定した濃度より約100倍上昇していることを確認しました。具体的な値は以下のとおりです。 全測定データ：約2.9Bq/L（2019/12/2） 約250Bq/L（2020/3/2）
(Cs測定データ：Cs134 ND（<0.86） ND（<0.86）, Cs137 約0.77Bq/L 約2.4 Bq/L）
- 当該タンクエリア（溶接型タンク）には、多核種除去設備処理タンク20基、ストロンチウム処理タンク8基が設置されていますが、これまでタンク水位に有意な変動は確認されておらず、日々のタンクパトロールでも異常は確認されておられません。
- 3月4日に同堰内で10箇所において雨水の再サンプリングを実施し、ほぼ同レベルの放射能濃度を確認しています。また同日に同エリア内タンクマンホールや連結弁の線量調査を実施したところ、一部に線量率の高い箇所を確認しましたが、当該箇所からの漏えいは確認されておられません。現時点で放射能濃度上昇との因果関係は不明ですが、作業中の漏えいの可能性や、連結弁グランド部からのにじみの可能性も含め、引き続き調査してまいります。
- なお、堰内雨水は内堰内にとどまっており、エリア外へ漏出は確認しておられません。近傍のB・C排水路のモニタリング結果や港湾内サンプリング結果にも有意な変動はありません。

3/3→3/2に訂正(3/6)



J1東タンクエリア内堰内雨水 分析結果 (2020年3月4日採取)



3/2採取 集水ピット (Bq/L)	Cs-134 ND (< 0.86)	Cs-137 2.4	全ベータ 250
-----------------------	-----------------------	---------------	-------------

No.	試料	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	全ベータ (Bq/L)
1	入口雨水	ND (< 0.88)	6.9	500
2	集水ピット	ND (< 0.55)	1.6	190
3	雨水	ND (< 0.86)	7.0	400
4	雨水	ND (< 0.54)	2.5	500
5	雨水	ND (< 0.64)	7.0	580
6	雨水 北西	ND (< 0.50)	2.1	230
7	雨水 北東	ND (< 0.88)	3.5	430
8	雨水 中央	0.64	9.4	250
9	雨水 南西	ND (< 0.66)	2.3	410
10	雨水 南東	ND (< 0.75)	3.1	610

NDは検出限界未満 (括弧内の数値は検出限界値)

有効数字2桁で記載

トリチウムは現在分析中

